

はじめに

豊かな自然に包まれ、中山道をはじめとした街道文化が息づくふるさと中津川市は、産業の中心である名古屋市に適度な距離にあり、次世代を担う親や子の育成に適した地域といえます。

本市の合計特殊出生率は、全国、県平均と比べて高い数値にありますが、少子化問題は本市においても例外ではなく、将来を左右する重要な課題といえます。若者の晩婚化、女性の社会進出、家庭や地域社会における連帯感の希薄化、子育ての不安や経済的負担など、その要因は様々です。

少子化の進行は、地域、企業、行政が一体となり、それぞれの立場で持てる力を出し合い、取り組むべき必要があります。

今回の行動計画の策定にあたって、「子育ては親が第一義的責任を負う」ということを大前提とし、子どもを安心して産み育てることのできる環境の整備や、子育てに喜びを感じることのできる親育てを大切にしたいと考えております。

また、合併後の地域の特性や、親や子どものニーズに応え、0歳から15歳までの成長を系統的に捉えて、見つめ直すとともに、全庁的な取組として子育てを支援することや、地域や企業に働きかけることを明確にしました。

そして、実行に関しては、教育委員会の子育て支援室を機能強化し、少子化対策を含め、子育て支援推進の中核として位置づけました。

今後は、一人の子どもが生まれ成長する過程を総合的に支援するため、市民、地域、企業などと連携を図りながら、この計画の実現に向けて取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、策定にあたり貴重なご意見を頂きました保護者の皆様をはじめ、地域協議会、関係機関の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成18年3月

中津川市長 大山 耕 二

